

農業 × 福祉で地域を元気に！

愛知の農福連携

取組事例集

農福連携で
農作業助かってます！



令和5年3月

愛知県農福連携相談窓口

農福連携とは、

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、

自信や生きがいを持って

社会参画を実現していく取組です。

農福連携に取り組むことで、

障害者等の就労や

生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、

担い手不足や高齢化が進む農業分野において、

新たな働き手の確保につながる

可能性もあります。

農福連携に関する様々な情報を発信しています。



愛知県公式ウェブページ

「あいちの農福連携」

目次

2022年度に農業者と福祉事業所のマッチングにより 新たに農作業請負が開始された農福連携の取組

- ・園芸農家 ポット苗のスペーシング作業 … 1
- ・大根農家 収穫後の残渣処理作業 … 3
- ・チンゲンサイ農家 空トレイの清掃作業 … 5
- ・枝豆農家 収穫後の選別作業 … 7
- ・いちご農家 箱折り作業 … 9
- ・みかん農家 収穫作業 …11

愛知県農福連携相談窓口では、農作業を委託する農業者の協力を得て、障害者就労施設やその利用者さん向けに農作業マニュアルを作成しています。
各事例紹介ページにある二次元バーコードからマニュアルを確認できますのでご覧ください。

農福連携 事例紹介 ①

| 基本情報 | | | |
|------|--|----|------------|
| 所在地 | 西尾市 | 作物 | パンジー、ビオラなど |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・園芸農家でのポット苗のスペーシング（鉢広げ）作業・就労継続支援B型事業所への農作業委託・作業時期：周年・作業頻度：週3～5日（9：00～16：00までの数時間） | | |

作業風景



農福連携に取り組んだ経緯

- ・相談者の農業者は既にある事業所に農作業を委託していたが、他の事業所にも話を持ちかけ、より良い連携先を探したいと考えていた。
- ・また、委託したい農作業が色々あるので、作業の分解や工程分けをしっかりと行いたいという相談を受けた。
- ・相談窓口では、作業内容の見直しや障害者就労施設の斡旋、作業工賃の調整などを行い、マッチング成立まで導いた。

感想など

〔農業者の感想〕

- ・非常に丁寧に作業してくれたため、お願いした農作業は問題なくこなしてもらえた。今回連携した事業所は日頃から“つま菊”の調整やカプセルトイ詰め、おもちゃの袋詰めなど、手作業の内職を行っているとのことで、今回の作業と相性が良かったのだと思う。

〔今後の感想〕

- ・農作業に従事する障害者を増やした場合にどの程度の作業を任せられるか、週にどれくらいの頻度でお願いできるかなどを今後調整していきたい。

作業内容



- 1ケース24個入りのポットに入った植物を12個入りのトレイに移し替えていく作業。
- 24個入りのポットはくっついているため手で切り離す作業が発生するが、障がい者の方でも難しくない作業となっている。



- 移し替える際に上図のように左から大、中、小のサイズごとに分けるが、目安としてそれぞれ実物があるので障がい者の方でも分かりやすいようになっている。

作業マニュアル

【静止画マニュアル】



【動画マニュアル】



農福連携 事例紹介 ②

| 基本情報 | | | |
|------|---|----|----|
| 所在地 | 一宮市 | 作物 | 大根 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・大根農家での収穫後の残渣処理作業・就労継続支援B型事業所への農作業委託・作業時期：1～4月・作業頻度：2週間に1回（9：00～16：00の数時間） ※1回の作業で2日程度 | | |

作業風景



農福連携に取り組んだ経緯

- ・相談者の農業者はもともと農福連携に興味があり、相談窓口があることを知って連絡を受けた。農福連携に取り組むのは初めてなので、色々な施設と相談しながらお願いできる作業を切り出していきたいと考えていた。
- ・相談窓口では、農業者が委託を希望する作業内容を聞き取り、作業分解や工賃の調整、作業マニュアルの作成などの支援を行い、マッチング成立まで導いた。

感想など

〔農業者の感想〕

- ・想定よりも作業がスムーズに進んだ。とてもきれいに残渣の処理ができていたので作業内容にも満足している。

〔今後の課題〕

- ・ほ場近くに駐車場がないので対応する必要を感じている。また、施設の都合で職業指導員の付き添いが少ないことがあると聞いたが、そのような場合でも作業を完遂できるよう施設との調整や農作業の工夫をしたい。

作業内容



- 大根を収穫した後に落ちている大根や葉を畑の隅に集める作業。
- フォークやレーキ等を使って一輪車に集める作業だが、比較的扱いやすい農機具のため障がい者の方でも難しくない作業となっている。



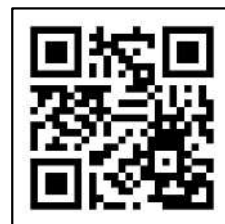
- 大根と葉は別々に集め、集めた大根や葉は畑の隅に別々に隣同士になるようにまとめて固めて置く。
- 大根と葉を別々に集めることで、障がい者の方でも困惑することなく作業に取り組むことができる。

作業マニュアル

【静止画マニュアル】



【動画マニュアル】



農福連携 事例紹介 ③

| 基本情報 | | | |
|------|---|----|--------|
| 所在地 | 安城市 | 作物 | チンゲンサイ |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・チンゲンサイ農家でのトレイの清掃、洗浄作業・就労継続支援B型事業所への農作業委託・作業時期：周年・作業頻度：週2～3日（9：00～16：00までの数時間） | | |

作業風景



農福連携に取り組んだ経緯

- ・相談者の農業者は過去に農作業を施設に委託していたが、新型コロナウイルスの感染拡大とともに依頼をやめてしまっていた。しかし、労働力は必要であり、常時雇用職員を雇うほどの作業量はないため、出来高で必要な時に作業をお願いできる農福連携に再度挑戦したいと考え、窓口にご相談した。
- ・相談窓口では、過去の取組について確認をするとともに、改めて農作業を請け負ってくれる施設を探し、お試しノウフクの実施などを行ってマッチング成立まで導いた。

感想など

〔農業者〕

- ・当初予定していた定植補助の作業だけでなく、新たに種まき作業の実証にも取り組むことができた。農福連携の可能性を感じており、今後色々な作業をお願いできるのではと期待している。

〔今後の課題〕

- ・障がい者が作業に慣れて作業効率が上がることで、作業時間中にどれだけの農作業をこなせるかを把握し、貴重な働き手として農業経営に組み入れていきたい。

作業内容



- 農業者が定植し終えて空になったセルトレイを洗浄、清掃していく作業。



- 植え終わったトレイには多少の土が残るためその土を手作業で落としていく。
- 扱いの難しい機械を用いないため、障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

作業マニュアル

静止画・動画マニュアルともにありません。

農福連携 事例紹介 ④

| 基本情報 | | | |
|------|--|----|----|
| 所在地 | 豊橋市 | 作物 | 枝豆 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・枝豆農家での選別作業・就労継続支援B型事業所への農作業委託・作業時期：6月・作業頻度：週2～3日（9：00～16：00までの2～3時間） | | |

作業風景



農福連携に取り組んだ経緯

- ・相談者の農業者は枝豆の収穫時に働き手が足りずに困っていた。収穫した枝豆を茎から外す作業を施設にお願いできるのではないかと考え、作業の時間帯も日中なので無理はないと思ったため、窓口にご相談した。
- ・相談窓口では、農福連携の基礎を説明するとともに、請け負ってくれる施設との調整、作業マニュアルの作成などの支援を行い、マッチング成立まで導いた。

感想など

〔農業者の感想〕

- ・枝豆の選別基準となる“2粒以上”や“反り”などを理解し、しっかりと判別して作業ができた。とても助かるので今後も継続してほしい。
- ・今回の連携をきっかけに、甘長ピーマンや白菜の作業でも農作業委託を試してみたい。

〔今後の課題〕

- ・今回は選別作業を農業者の作業場で行ったが、施設内就労で取り組んでもらうことも考えており、その場合に収穫物の運搬をどうするか考える必要がある。
- ・大きさの選別間違いはほぼないが、色味による選別がやや難しかったようなので、色見本の準備などを検討していく。

作業内容



- 枝豆をつまんで枝から取り外す。枝豆がついている付け根部分を手首を捻るようにして上方方向に引っ張りながら枝豆を取り外す。



- 枝から取り外した枝豆を規格ごとに①A品②B品③外品の3種類に仕分ける。
- 農家さんが選別した枝豆があらかじめ発泡スチロールに入っているため、障がい者の方でも枝豆の大きさを参考にしながら選別作業ができる。

作業マニュアル

【静止画マニュアル】



【動画マニュアル】

動画マニュアルはありません。

農福連携 事例紹介 ⑤

| 基本情報 | | | |
|------|--|----|-----|
| 所在地 | 岡崎市 | 作物 | いちご |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">いちご農家での箱折り作業就労継続支援B型事業所への農作業委託作業時期：3～6月作業頻度：週2回（9：00～16：00までの数時間） | | |

作業風景



農福連携に取り組んだ経緯

- 相談者の農業者は気温が上がる3月頃から出荷量が増え、既存の雇用者だけでは農作業に十分対応できないことに悩んでいた。また、出荷箱の折り作業はパートにお願いしてこなかったため、今回施設に委託できないかと考え窓口にご相談した。
- 相談窓口で確認したところ、作業内容は比較的簡単であるため、農福連携が可能と判断。請け負う施設の調整、作業マニュアルの作成などを行い、マッチング成立まで導いた。

感想など

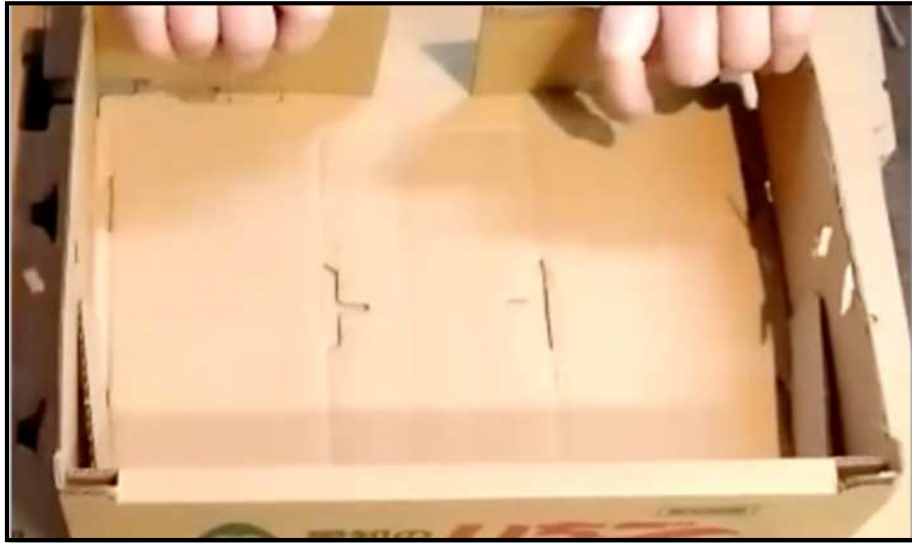
〔農業者の感想〕

- 作業は問題なく実施でき大変助かった。今後もぜひ継続してほしい。

〔今後の課題〕

- 継続して作業に来ていただくため、作業場所を確保する必要がある。5～6名のユニットで来てもらっても大丈夫なように広めの場所を作りたい。
- 比較的難易度の低い作業で多くの障がい者が対応できるため、今回マッチングした施設は継続意向を示したが、施設外就労とするには交通費がかかり、施設内就労では場所をとる（段ボールがかさばる）ので、今後どのようにしていくか検討が必要となっている。

作業内容



- いちごの箱を折る作業。この箱を折ることで、普段スーパーで見かけるいちごの箱が完成する。
- 箱を折るだけの単純作業のため障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。



- 山折り谷折りを見てそれを順序よく折っていく。
- まず箱の外側部分を壁にしていき、次に箱の下部をグッと押し上げ、最後に箱の中に仕切りを入れると完成する。

作業マニュアル

【静止画マニュアル】



【動画マニュアル】



農福連携 事例紹介 ⑥

| 基本情報 | | | |
|------|---|----|-----|
| 所在地 | 東海市 | 作物 | みかん |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・みかん農家での収穫作業・就労継続支援B型事業所への農作業委託・作業時期：11～12月・作業頻度：週1～2日（9：00～16：00までの数時間） | | |

作業風景



農福連携に取り組んだ経緯

- ・相談者の農業者は子供が施設を利用しており、自らのみかん栽培で贈答用の収穫作業に人手が足りず困っていた。
- ・子供が利用する施設に農作業を委託できないかと考え、円滑に連携を進めるために支援をしてほしいということで窓口に相談があった。

感想など

〔農業者の感想〕

- ・想像よりもよく作業ができて驚いた。作業に来た方の中にみかん狩り体験のある方がおり、ハサミの使い方に慣れていたのが良かったと思う。
- ・お試しノウフクは2時間程度であったが、よく集中して作業をしてくれた。何度か練習してもらい、継続的に依頼していきたい。

〔今後の課題〕

- ・屋外での作業であるためトイレの手配を考える必要がある。

作業内容



- みかんの根元から1 cm程度のところで一度木からみかんをカットする。
- 次にみかんの皮の形に沿ってみかんの軸を切り取る。この際にみかんの皮を傷つけないように十分に気を付ける。また、軸が残らないようにする。



- 高い所にあるみかんを取るときはみかんを引っ張らずに枝を引っ張ってきてみかんを切る。みかんを引っ張ると皮がむけてみかんが取れてしまう恐れがある。
- 高い所にあるみかんを取るときは脚立を使う場合もあるので十分気を付ける。
- 基本的には障がい者の方でも比較的取り組みやすい作業となっている。

作業マニュアル

【静止画マニュアル】



【動画マニュアル】



愛知の農福連携取組事例集

令和5年3月24日

編集 株式会社アグリトリオ
〒441-8560
豊橋市植田町字大膳 39-5
電話 0532-82-2862
印刷 中部印刷株式会社

令和4年度愛知県農福連携推進事業「農福連携相談窓口
の運営及びマッチング業務」により作成しています。

【問い合わせ先】

愛知県農業水産局農政部農業経営課（教育グループ）

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸 3-1-2 TEL052-954-6409
